



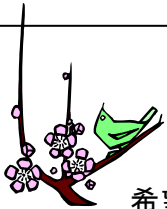
岸 高明の議会だより

事務所 茅ヶ崎市新栄町7-1 岸ビル6F
 自宅 茅ヶ崎市本村4-10-8

Tel 0467-51-4838
 Fax 0467-51-4839

<http://www.takaaki-kishi.com/>

mail: t-k@takaaki-kishi.com



謹賀新年

希望に満ちた年となる事を祈っています。

昨年は、皆様の応援を頂き、市議会議員として3期目の当選をさせていただきました。私たちの期が議会で重職を担う立場となりました。私は、市議会においては都市建設常任委員長、会派茅ヶ崎クラブの会長として仕事をさせていただいています。

東日本大震災からの復興を支える日本経済の発展が必須です。しかし、ギリシャやイタリアの国家財政破綻の恐れを抱えユーロ経済は動揺し、世界経済全体が不透明となっています。

しかし、経済活動は自然災害ではありません。人の営みです。国家経済に携わる人々が知恵を出し合えば乗り切れるものだと信じています。

本市を取り巻く環境も常に変化しています。本市にとっての好機としなければなりません。相模縦貫道は新幹線交差箇所です。工事が遅れていますが、相模原から西久保を経由して柳島海岸まで高速道路一本で繋がるのは間近です。本市の利便性向上と茅ヶ崎海岸へ県北部や山梨方面から来られる人々に満足していただける街づくりを進めます。

昨年、JR東海はリニア中央新幹線の東京・名古屋間を15年後の2027年に開通させると打ち出しました。中間駅は相模原市にするとの事でJR相模線の始発である本市が、相模縦貫道と共に大きなポテンシャルを持つチャンスです。JR 相模線のスピードアップを積極的に推進してまいります。

不安定な世相ですが目を凝らしてみれば、豊かな明日に繋がる政策の芽が多数あります。その芽をしっかりと元気に育ててまいります。



平成24年3月議会

3月議会は2月23日から開催。私は、平成24年度の市長の施政方針及び予算案に対して、会派代表質問を行う予定です。

他市と比べて、意外に良好？ 市の財政

日経グローバルの調査では都市のサステナブル度(持続可能性)が630市区中の45番目。

週間エコノミストの調査では借金ランキング1658市区町村中の良い方から80番目。



資金は大丈夫か

仮称 柳島スポーツ公園

現在の中島にある相模川河畔スポーツ公園を柳島の鉄砲道と柳島小学校の間の農地に設備の整ったスポーツ公園として移転・建設する計画が着々と進められています。

用地買収費用を除いた建設費だけで48億円程度が必要です。市としては、民間資金を活用したPFIで事業を進めるとしています。必要性と市民負担のバランスに十分配慮し進めるべきと考えます。

◇開園予定 : 平成28年度末

◇整備面積 : 約6.5ha

◇工事費 : 約48億円(用地買収費除く)

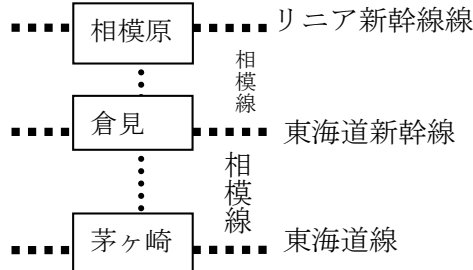




12月議会私の一般質問から

☆JRはリニア中央新幹線開通を2027年と発表、それにより東海道新幹線の倉見新駅設置が可能となるとのJRの見解。

短期勝負である。本市の命運が懸かるJR相模線の高速化に、市は積極的に取り組むべき。



☆茅ヶ崎駅周辺の活力向上・街の魅力アップが必要。水辺環境の創出と新国道における東海道の松並木の再興。<新国道は国道1号のバイパス。すなわち“新”東海道>



12月議会議案から

昨年12月議会では、議案53件ほかを審議致しました。主な議案は、以下の通りです。

- ☆ 防災対策強化のために備品等を整備。
 - 街中の防災無線が室内では聞えない、音が反響し意味が解らない等の対策として防災ラジオを300台購入。防災ラジオから防災無線の放送が流れます。電波状態の確認等のため試行的に自主防災組織に貸し出す見込み。
 - 火災発生消火のために小型高压送水装置を6台と消防格納庫に保管し市民が自主的に消火利用可能な重さ10kgの超小型軽量送水装置を10台購入。
- ☆ 東日本大震災を受け液状化予測図を制作。
- ☆ 放射線測定器購入。市民が利用できるハンディタイプを15台と高性能測定器を5台購入。
- ☆ 香川駅前から北側の踏切間の道路に市民の安全確保のために歩行空間を整備。
- ☆ 下水道事業を市立病院同様に一般会計から独立した地方公営企業化のために条例を制定。

☆想定がない所に対策は無い。県が公表した津波想定図による浸水リスクが高い場所の対策を議論。県と市は3月末を目途に対策をまとめる予定。防災無線の故障対策として二重化の必要を議論。<今は津波予測図を市のホームページでも公表>



市役所建て替え

市役所建替は、東日本大震災があり、その経験も踏まえ計画を見直し、パブリックコメントを経て実施設計のための基本計画が策定されました。公募プロポーザル方式により、基本計画に基づき企業に企画提案を求め発注先を選定し設計発注を行います。3年後の平成27年度中に供用を開始する予定で進めています。

茅ヶ崎市立の小・中学校の校舎は耐震改修が完了しています。全国的に学校などの公共施設が優先され、市役所の耐震性向上が後回しになっていると指摘されています。3月11日の地震では、茅ヶ崎市役所本庁舎が耐震性不足から使えず、緊急的な防災対策本部の設置では不安が残りました。

人口急増期の学校校舎の建替えが迫ります。一時に大きな財政的負担がないように、計画的に公共施設を建替える必要性があります。

- ◇延べ床面積 : 16000 m² (現庁舎 14000 m²)
- ◇建築場所 : 市役所西側駐車場
- ◇事業費 : 72億円
- ◇設計 : 平成23年度末から平成25年度中
- ◇建設工事 : 平成25年度中から平成27年度中

分庁舎 本庁舎

